

(別添3)

【羽島郡岐南町・笠松町】

校務DX計画

1. 本計画の目標

羽島郡岐南町及び笠松町の小学校6校及び中学校2校の全てが、業務の効率化、教育の質の向上、教職員・児童生徒・保護者との連携を強化する。加えて、8校教職員間の連携を強化することで、一層の質の高い教育の実現を目指す。

2. 具体策

(1) クラウド利用

- ・ ペーパレス化(会議資料、教材提示、通知文書回覧)
- ・ FAX廃止(学校間及び学校と教育委員会間は、既に廃止。関係諸機関については、学校設置のFAXのリース終了を機にFAX番号も停止する予定を伝え、理解を図る。)
- ・ 名簿データ手入力廃止(住基ネットの学籍簿データを小学校の校務支援システムデータ形式に変換して提供するようにする。)

(2) 1人1台端末利用

- ・ 情報共有(Teamsによる校内情報共有、郡内情報共有)
- ・ 施設予約(Teams、共有Excel)
- ・ 共同編集(Microsoft365による校内職員、8校教職員間の共同編集)
- ・ 児童生徒への情報配信、アンケート(Teams,学習eポータル)
- ・ 家庭学習チェック負担軽減(AIドリルによる自動採点、学習ログ収集)

(3) 次世代型校務支援システムの利用

- ・ 1人1台端末からの利用(学習eポータルからの生体認証ログイン)
- ・ 児童生徒情報の活用(学習eポータルのデータ可視化ダッシュボード)
- ・ 帳簿の電子閲覧・電子保管(印刷不要、押印不要、紛失防止)
- ・ 名簿、出席簿、成績管理のデジタル管理(通知表のみ印刷)
- ・ 保護者とのコミュニケーション(すぐーるによる通知、アンケート、集計)

(4) 生成AIの利用

- ・ テキスト生成AIの活用(教材例文作成、学習ログの評価など)
- ・ 画像生成AIの活用(教材イラスト作成、通知文書用イラスト作成)
- ・ 音声生成AIの活用(教材ビデオの音声合成)

3. 推進方法

- (1) 校務DXを推進する組織を明確にする。
 - ・羽島郡としては、校長会、教頭会、教務主任会
 - ・各校内では、校内ICT推進委員会

- (2) 校務DXの意義を教職員に周知する。

意義・校務の効率化により、本来の職務に注力できるようにする。

 - ・「クラウド感覚」を体感し、主体的に教育DX化を推進できるようにする。

- (3) クラウド対応の教育情報セキュリティポリシーを教職員に周知する。
 - ・ロケーションフリーでのリスク管理を徹底

- (4) ICT環境の整備状況に応じ、利活用例及び利活用方法を教職員に周知する。
 - ・Teams「羽島郡ICT支援」チームでの配信
 - ・職員研修用資料(文書、動画)
 - ・ICT支援専門員による研修

- (5) 各校の推進状況を把握し、共有する。
 - ・文部科学省調査結果を活用
 - ・羽島郡ICT推進員による調査、働きかけ

4. KPI(DX化計画の評価指標)

- 不合理な手入力作業を一掃 100%(R7)
- 教育情報セキュリティポリシー研修の徹底 100%(R7)
- 生成AIを校務で活用する 100%(R7)
- FAXでのやり取りを廃止(校医、地域団体を除く) 100%(R7)
- クラウド環境を活用した校務DXを徹底 100%(R8)